

## 「憲法変えるな 憲法守れ」宣伝カー流し原稿（例）

2020年5月

みなさん、こんにちば。こちらは、全国労働組合総連合、全労連です。私たち全労連は、働くものの生活と権利を守り、

人間として大切にされる社会を実現しようと、運動をすすめています。

新型コロナの影響が、くらしを直撃しています。

「仕事が減った」、「明日から来なくていいと言われた」、「賃金が支払われていない」など、さまざまな不安が広がっています。

仕事のこと、暮らしのこと、一人で悩まず、労働相談ホットラインにお電話ください。

0120 378 060 で、平日10時から17時まで、受け付けています。

コロナを口実にした勝手な解雇や雇止めは許されません。

私たち国民には、働く権利、生きる権利があります。

力をあわせて、安心・安全な日々を取り戻しましょう。

みなさん、こんにちば。こちらは、全国労働組合総連合、全労連です。

コロナ感染拡大を防止しようと、多くの国民が「外出自粛」や「休業要請」に協力しています。

ところが、安倍内閣は、自粛や休業で生まれた損失は、自己責任だとしています。

これでは、今の生活を維持することすら、できません。

多くの業者を廃業に追い込むことになりかねません。

ヨーロッパの国々は、自粛や休業で、収入がなくなつた人に、国が補償をしています。

イギリスでは、労働者も自営業者もフリーランスも所得の8割を国が補償しています。

ドイツでは、個人事業主や零細企業に、即時、支援金が支給されています。

みなさん、日本国憲法29条には、公のために財産を提供するときには、「正当な補償が必要」だと書かれています。

「自粛要請と補償は一体に」というのが、憲法にも書かれているルールです。

政府は、国民の声と野党の追及に押されて、やっと一人10万円の給付に動き始めましたが、まだまだ、これでは暮らせません。

コロナによる困難は、とりわけ弱者にのしかかります。

営業と生活を守れ、仕事と雇用を守れ、と声を上げましょう。

みなさん、こんにちば。こちらは全国労働組合総連合、全労連です。

日本の検査体制や、医療体制は、ビクビクするような貧弱さです。

抜本的な予算の組み換えが必要です。

安倍内閣の下で、増え続けている防衛予算は、今年、5兆3000億円を超えました。アメリカ製の兵器を爆買いするために、私たち国民の税金が使われています。防衛予算拡大の一方で、医療費が削られ、病院や保健所が減らされてきました。さらに、医師不足、看護師不足が、コロナ危機を拡大しています。みなさん、いま、税金の使い方が問われています。防衛予算よりも、医療・福祉に税金を使うべきではないでしょうか。軍事費削って、暮らしに回せ、医療に回せと、声を上げましょう。

みなさん、こんにちば。こちらは全国労働組合総連合、全労連です。

ローマ教皇は、「今は、武器をつくり売買すべき時ではない。人々を支え、命を救うために巨額を費やす時だ」と訴え、「戦争を終わらせよう」と呼びかけました。国連のグテーレス事務総長も「今は、世界を苦しめる病気とたたかう時、即時停戦を」と呼びかけました。

コロナ感染の広がりの中、戦争の愚かさがあったため示されています。オスプレイやステルス戦闘機がいくらあっても、人の命は守れません。いま、必要なのは、人の命を奪う武器を買うための予算ではありません。

コロナ不況による倒産・リストラ・失業の連鎖を防ぐ経済対策こそ、必要です。フリーランスも含めた働く人の所得補償こそ、必要です。

医療や公衆衛生の抜本的強化こそ、必要です。武器ではなく、いのちを守るために税金が使われなければなりません。憲法の理念を生かした、コロナ対策を求めましょう。

2

みなさん、5月3日、73回目の憲法記念日を迎えます（迎えました）。

日本国憲法25条は、すべての国民に、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利がある。うたっています。

憲法26条は、お金の心配なく学校に通えるように、学ぶ権利を保障しています。新型コロナウイルス不況は、子どもや青年も苦しめています。

仕事がなくなり、家計が急変した家庭の子ども、アルバイトがなくなった学生のために、就学援助や奨学金などの増額が求められています。

また、憲法27条は、すべての国民に、はたらく権利を保障しています。コロナによるさまざまな不安から、安心・安全の日々を取り戻すために、憲法の実現が求められています。

ところが、安倍内閣は「緊急事態条項が必要だ」などと言って、憲法改悪に前のめりです。

ところが、どの湯論調査を見ても、国民は、安倍首相による改憲など望んでいません。いま、国会や内閣が議論すべきことは、憲法の理念に立った新型コロナウイルス対策であり、憲法を変えることはありません。憲法変えるな、憲法守れの声を上げましょう。

みなさん、こんにちは。こちらは全国労働組合総連合、全労連です。憲法9条は、「2度と戦争しない」「武力を使わない」と定めています。

戦後75年間、平和な時代が続けることができたのは、憲法9条があるからです。

9条を壊して、日本を「戦争する国」にしよつとする

安倍内閣の暴走をストップさせましょう。

今こそ、憲法9条を守り、いかすときです。9条を変えてはなりません。

皆さん、日本国憲法前文には、世界中の国々と仲良くしよつと、国際協調主義が書かれています。

コロナ危機の下、世界の国々が、手をつないで、コロナに立ち向かうことが求められています。

国と国との対立・分断や戦争では、解決の道は開かれませんが。

話し合い、平和的な外交をすすめることが求められています。

全労連は、あらためて、日本国憲法の価値を確認しながら、憲法を守り、いかそつと運動をすすめます。

どうぞ、よろしく願います。

みなさん、こんにちは。こちらは全国労働組合総連合、全労連です。

コロナ危機の中、大変な日々が続いています。

「アベノマスク」や「ころころ変わる給付金」など安倍首相のコロナ対策に批判の声<sup>3</sup>が高まっています。

「桜を見る会」や、カジノ汚職、河井夫妻の「政治とカネ」問題、検察官への人事介入、「公文書がいざん」など、ウソと「ママカシ」の安倍内閣をそもそも信頼することはできません。

ましてや、この機に乗じた「改憲」など許されません。

私たちは、憲法を生かし、平和・人権・民主主義、生活の向上が実現する社会を求めます。

いま、「安倍9条改憲NO! 改憲発議に反対する全国緊急署名」へのご協力をお願いしています。

「戦争だけはいやだ」「いのちと暮らしを守る社会に」と望む声を集める署名です。

この国の主人公は、私たち国民です。政治の私物化を許さず、国民が大切にされる社会を求めて、「署名に皆さんの思いをお寄せください。よろしく願います。」